

癒しの溪流づくり ～生保内川の自然と防災～

1 社会資本の概要

八幡平山系の生保内川流域では、脆弱な地質のため大雨の度、土砂災害に見舞われてきました。この土砂災害から人々の命と暮らしを守るための砂防ダムと、カジカやホタルが息する多様な自然環境の両立を図るため、地域特性と生態系に配慮した透過



昭和35年8月 田沢湖水害

型大暗渠砂防堰堤が造られました。

砂防施設の周辺には杉木立の中を散策できる遊歩道と水辺施設が整備されたことで、市民の交流の場となっており、大暗渠をメインとした砂防事業の学習の場としても活躍しています。



生保内川大暗渠砂防堰堤

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

生保内地区は急速な少子高齢化と、火山地域特有の脆弱な地質等に起因する荒廃地からの度重なる土砂災害の危険にさらされています。こうした中で、地域を越えた交流や助け合う町づくりを目指し、環境に適した大暗渠と多様な自然に恵まれた地域の宝「生保内川」を活かした活動を行っています。

平成20年度から毎年、角館高等学校インターアクト部などの協力により、水辺や森の自然と触れあい、親子・高齢者との交流イベント「生保内川癒しウォーク&交流会」を開催しています。また学識経

験者の講演会を含む市民レベルでの環境に関する癒しの溪流の意義及び防災意識の向上、田沢湖水害から学ぶフォーラムを関係団体と共同で開催し、将来への自然環境保全の大切さ、防災対応や過去の悲惨な災害の継承を語り合う活動を実施しています。

癒しの溪流においては、健常者のみならず体力的に弱い子供や高齢者・心身に障害のある方たちに、生保内川で元気いっぱい自然、大暗渠とふれあえるイベントを開催しています。



小学生へ砂防堰堤についての総合学習の実施



世代間を超えて自然とふれあいながら交流を深める参加者



秋田県仙北市

NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」 / 仙北市建設課

3 活動の成果や波及効果等

恒例イベント「癒しのウォーク&交流会」では、子どもからお年寄りまで80~100名の参加者があり、森林を縫う約2 kmの散策路ウォーキングのほか、溪流での川遊び、イワナ取りを通じて自然の中で交流を深めています。

またフォーラムの開催によって、大暗渠砂防堰堤の存在や働きを再認識し、昭和35年「田沢湖水害」の大水害の記憶を風化させること無く、防災意識の向上に繋がっています。



イワナのつかみ取りの実施



癒しウォークで森林を歩く参加者

喜びの声

「手づくり工具（一般部門）」認定証授与式
...癒しの溪流づくり...

受賞者

NPO 法人
「癒しの溪流・里・まちネット」
理事長 田口 寿宜

コメント

心からうれしく思っています。この賞を頂いたことを励みにして、市民の皆さんや地域の皆さんのご協力を頂きながら、これまでの活動に尽力していきたいです。

活動内容

施設の安全点検、フォーラムの開催

活動の経緯

平成19年 NPO 法人 癒しの溪流・里・まちネット発足
平成20年 「癒しウォーク&交流会」開催（以後毎年開催）

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

秋田県仙北市田沢湖生保内地先

活動主体及び連絡先

NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」
※功労者名：菅原 陽三
理事長：田口 寿宜 (0187-43-2532)

対象となる社会資本

生保内川遊砂地・生保内川大暗渠砂防堰堤
※管理者：秋田県仙北市

